

## 令和5年度 学校評価

令和6年2月に、教育水準の向上を図り、本学院の目的及び社会的使命を達成するために、学則第3条に基づく、学校運営に関する評価を行いました。

評価は、「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」\*に基づいて、9カテゴリー125項目で行いました。

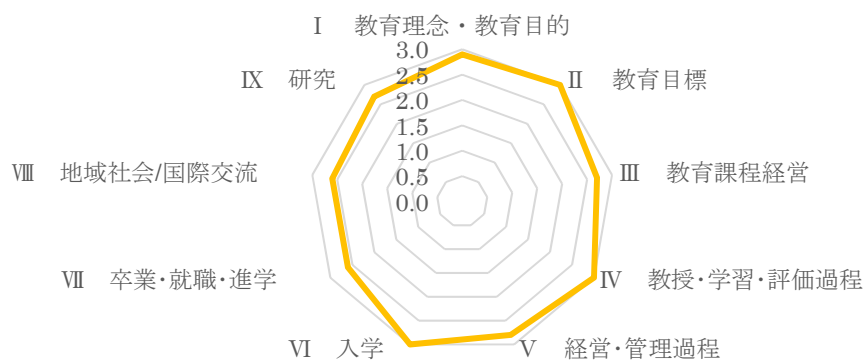
基準を 3点：あてはまる、2点：ややあてはまる、1点：あてはまらない、の3段階としました。

結果は下記のとおりです。

評価項目	評価の概要	項目数	評価の平均 (四捨五入)
I 教育理念・教育目的	養成所の教育理念・教育目的が、教職員と学生に理解され、卒業時の学生の様子に反映されているか。	11	2.9
II 教育目標	教育理念・教育目的と教育目標が一貫しているか。教職員と学生が目標を理解しているか。	7	3.0
III 教育課程経営	教育理念・教育目的の達成に向けて、教育目標が達成できる一貫した科目構成になっているか。	31	2.7
IV 教授・学習・評価過程	教育理念・教育目的の達成に向けて、講義・実習の内容の精選が行われ計画的に実施・評価されているか。	17	3.0
V 経営・管理過程	将来構想を元に計画的に管理運営しているか。学生生活の支援体制が整っているか。	36	2.8
VI 入学	教育理念に基づいた学生の確保のため、適正な選抜と、実施状況の分析をしているか。	2	3.0
VII 卒業・就職・進学	卒業時の到達状況、進路、国家試験の合格状況を分析し、教育活動に生かしているか。	8	2.6
VIII 地域社会/国際交流	地域社会のニーズをふまえた社会貢献ができているか。国際的視野をふまえた教育がされているか。	10	2.6
IX 研究	教員の研究活動の実施状況。研究活動の支援体制が整っているか。	3	2.7
平均			2.8

2003年「厚生労働省の看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針検討会」報告書

「看護師等養成所の教育活動等に関する自己評価指針」C<点検>(評価内容)一覧



総合評価は平均 2.8 点であり、前年度より改善が見られ、全体的にバランスが取れた評価結果となりました。

岩手県立一関高等看護学院は、社会の変化に対応し、医療・看護に対する人々のニーズを満たし、質の高い看護を提供する責任があるので、教育理念に「県民の医療不安を解消する」という責務を掲げています。

看護師国家試験の合格状況は、平成 14 年度から連続 100%で推移しています。

(課題)

#### V 経営・管理過程

効果的に教育目的を達成するために、学習・教育環境を意図的、計画的に整備していくことが重要となります。施設・整備の考え方の中には、学生および教職員の活動が安全かつ快適である必要がありますが、校舎や寄宿舎の経年劣化に伴い、建物、施設内器具や ICT 機器の故障等が目立つ現状です。

養成所の運営においては明確な将来構想のもとに、中・長期計画、短期計画、年間計画を立案し、その実施・評価をしなければならないと考えますが、厳しい財政状況のもと、年間の運営計画の積み上げにとどまっている状況です。

#### VII 卒業・就職・進学

養成所が社会のニーズに応じた人材の養成を行っているかを長期的な観点から評価するためには、卒業生の活動状況を追跡し、把握した結果を統計的に整理していく必要があります。具体的には卒業生の就業先との情報交換や調査の実施、同窓会との連携等を計画的に行う必要があると考えます。

令和 5 年度における就職状況は、26 名（岩手県医療局に 17 名）の卒業生が岩手県内に就職しました。

進学に関しては保健師や助産師を目指し、4 年制大学に 3 名編入学しております。